



2015～16 年度
国際ロータリー会長
K. R. ラビンドラン

Weekly Report Niigata



世界へのプレゼントになろう

2015～16 年度 国際ロータリーのテーマ



2015～16 年度
新潟ロータリークラブ会長
竹石 松次

新潟 RC4月第 1 例会 (2016.4.5) No.3129

(1) 「君が代」 斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」 斉唱

(2) 竹石 松次 会長挨拶

三波春夫

大正十二年 (1923) ～平成十三年 (2001)

長岡市塚野山 (旧三島郡越路町) に生まれる。北詰家は、印刷、書籍、文具店を営んでおり、民謡好きの父が三人の子供に民謡を教えた。

七歳の時、母が病気で亡くなるが、末っ子の文司少年は、父親から江差追分を習った。

歌が好きだった文司は、田植えや稲刈りの時に、畦道で民謡を唸る程の民謡好きであった。九歳の時、父親が再婚、その母がまるで実母のように接してくれたことから、少年期を伸び伸びと育った。

昭和十一年 (1936)、十三歳の時、一家で上京、米穀商、製麺所で、住み込みで働くことになった。米・麺の配達には自転車に乗って大声で浪曲をうなりながらであった。届け先で請われれば浪曲を披露するなど、朝から晩まで働き詰めであった。

浪曲師、寿々木米若の門を叩くが、芸界の苦勞や厳しさが書かれた丁寧な断り状が届き、希望通りの職業には就けなかった。

昭和十三年、十五歳で築地魚市場内にある伯父の店に就職する。しかし、今度は夜中の二時から朝の九時まで働き通し、伯父が病気の際は、代わってセリにもでたが、若すぎて難しく、銭湯で市場のセリ人の背中を流して名前と顔を覚えて貰った。

市場内でも、仕事が一段落した後、魚を入れる木の箱「とろ箱」を積み重ねて演台を作り、浪曲を唸って人気者になった程である。

昭和十四年の秋、文京区本郷の日大芸術学部の地下にあった夜間学校「日本浪曲学校」に入学、そして、いよいよ東京六本木の寄席、新歌舞伎座で初舞台を踏むこととなった。その後、八丁堀住吉亭で「南條文若」の襲名披露興行を開始し、少年浪曲家として活動することとなった。

社会情勢が戦時色に染まる昭和十九年、陸軍に入隊、中国・満州に派遣される。

北満第一線地区での戦闘は、ソ連軍との交戦、多くの戦友が亡くなる中、自身も負傷、その後、ソ連兵に囲まれ囚

われの身となった。

やがて、ハバロフスクでの抑留生活、固い黒パンと、塩とお湯だけのスープ、強制労働に明け暮れる毎日が続いた。

抑留生活では、娯楽が少なかった中で浪曲を披露し歓迎され、捕虜の思想教育に当たっていたソ連側も、各収容所での巡演を大目に見る様になった。

結局、シベリア、ナホトカでのラーゲリー・捕虜収容所での生活は、四年間に及び、昭和二十四年九月、舞鶴の港に無事帰還することが出来た。

抑留時代を詠んだ句がある。

「シベリアの 夜寒や夢は ふるさとへ」

山の緑、松の緑が目についたという祖国の土を踏む間もなく、故郷の母校の講堂で、浪曲師として講演活動を再開した。

帰国三年後には、歌、踊り、三味線が弾ける野村ゆきと結婚、以後二人三脚の芸能生活がスタートする。

浪曲師から歌手への道も次第に環境が整えられていった。名前を「南條文若」から「三波春夫」に変えた。南條の南、人生に様々な波があるということで波をとったという経緯がある。

民謡歌手から歌謡歌手への道は、三橋美智也と同じで、演歌大衆歌謡の流行がスターを育てていった。「チャンチキおけさ」「船形さんよ」、そして、紅白歌合戦の「雪の渡り鳥」で初出場を果たし、以後三十回出場を記録する。押しも押されもせぬスターとなった三波春夫は、「北村桃児」のペンネームで長編歌謡浪曲を自ら構成「俵星玄蕃」「豪商一代紀伊国屋文左衛門」「平家物語」など数々の名作を残した。中でも、戦後復興の象徴ともなった東京オリンピックのテーマソング「東京五輪音頭」は、二百五十万枚、そして、大阪万博のテーマソング「世界の国からこんにちは」は百三十万枚という空前のヒット曲となった。

2020年の二回目の東京オリンピック決定後は、三波春夫の歌が再登場している。

ふるさと新潟の歌も数多いが、昭和五十年、糸魚川市の方言で、貴方のことを『おまんた』というのに掛けて「おまんた囃子」が制作され、三波春夫が曲づくりに携わった。筆者もお祭りで踊る様子を取材したが、市の若者が地元で招いて〈ふるさと応援歌〉を盛り上げており、昭和五十年

の紅白歌合戦でも披露された。

『お客様は神様です』のお話を、自著「三波春夫出ございます」の中で披露している。

「実は昭和三十六年の春、関西地方のある公演にあてられた体育館は、暗幕がなく、明るかったので、超満員のお客様の顔がすべて見えました。そりゃもう楽しいステージでした。司会の宮尾たかし君が『座長、今日のお客様をあなたはどう思いますか』というので『そりゃもう、ありがたい。お客様は神様のようです』と答えたところが、会場の神々がヤンヤの大笑いとなったのです。」

と語っている。

三波春夫の人柄とお客さんを大切にしている気持ちが「お客様は神様です。」に凝縮されている。

最後の録音は、新潟市出身の芥川賞作家の新井満作詞作曲の「富士山」であった。

平成十三年、七十七歳の生涯を終えた。

「逝く空に 桜の花が あれば佳し」の石碑が出身地長岡市塚野山に建っている。

歌った曲は、千五十八曲、シングル盤二千五百十万枚、紫綬褒章、長岡市名誉市民賞、新潟県民栄誉賞等に輝いている。

(3) ゲストの紹介

麒麟ビールマーケティング(株)

営業部副部長 勝山文晴氏

(4) 新会員の紹介



全日本空輸(株)新潟支店
支店長 山田 浩之君
ご紹介 竹石 松次君
所属委員会 広報・会報・雑誌委員

皆様はじめまして、全日本空輸株式会社(ANA)の山田浩之です。この度は、竹石松次会長様、岡村健吉会員増強委員長様、安藤智様よりご推薦を賜り、歴史と伝統ある新潟ロータリークラブへの入会をお認め頂き誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。私は、昭和41年2月26日生まれの50歳です。竹下登元首相、岡本太郎画伯、サザンオールスターズの桑田佳祐、サッカーのキングカズ、往年のホームランバッター門田博光など輝かしい功績を残された方々と同じ誕生日ですが、小生は何一つ功績のない50年を過ごしてまいりました。生まれは大阪市の下町で、大学まで大阪・京都で過ごし、平成元年4月に入社しました。入社後は、東京(2年)→大阪(3年)→東京(15年)→静岡(2年半)→東京(4年半)で勤務し、昨年4月に異動で新潟に参りました。静岡勤務時代に続き2度目の単身赴任生活です。初めてのロータリー活動ですので、どのような貢献ができるか今は不安でいっぱいではありますが、諸先輩方からご指導、ご鞭撻を賜りながら社会奉仕や地域貢献に努めてまいります。ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(5) 100%出席バッチの贈呈

鷗野 幸規君	1年	新田 幸壽君	1年
山本 康仁君	1年	岡田 茂久君	2年
織戸 潔君	4年	細野 義彦君	6年
田中 克典君	6年	高橋 清文君	8年
佐藤 紳一君	15年	柴田 史郎君	16年

(6) 誕生日お祝い贈呈(7名)

(7) 結婚記念日お祝いの紹介(8名)

(8) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(織戸 潔委員長)

織戸 潔君

米山奨学会寄付発表(小林 敬直委員長)

徳山 啓聖君

青少年育成基金寄付発表(小林 悟委員長)

高橋 義明君 高橋 清文君

小林 悟君

(9) ニコニコボックス紹介(竹田 正弘委員)

・玉 知夫君 結婚祝いの綺麗なランを頂き妻も喜んでいきます。

・登坂 直美君 子会社チューリップライフの社長を退任しました。一年半のリリーフ役を無事務めることができ、ホッとしています。

(10) 幹事報告(吉田 和弘幹事)

・新潟市内7RCゴルフコンペは6月23日(木)に決定しました。

(11) 会員スピーチ

「完成間近！これぞ、新潟のビールだ！
一番搾り 新潟づくり」
麒麟ビールマーケティング(株)
新潟支社長 山本 泰仁君

4月5日例会の出席率 65.63%

会員数99名(出席免除会員 9名)

出席者63名(出席免除会員7名を含む)

(2週間前メーク後 85.59%)

前橋 RC, 水戸 RC との合同観桜会報告

玉 知夫親睦委員長

4月5日 理事会報告 出席者10名

- 1 竹石 松次会長挨拶
- 2 浪江ロータリークラブとの友好関係について

友好クラブ締結の方向で承認。浪江 RC 側の動向を確認の上、6月14日に新潟へ招待し、締結式を行う。夜はプロ野球観戦の予定。

- 3 市内7RC会長幹事会報告

① 関屋分水路桜並木プレートを新設。新潟クラブの負担は約90,000円の予定

② 事務局共通費予算について

③ 6月23日(木)7RC合同ゴルフコンペについて

- 4 入会推薦者について=承認

清水建設(株)新潟営業所所長 清水康次郎君
(推薦者 石本隆太郎君 田中 克典君)

- 5 ミサワホーム北越(株) 川瀬正幸君の退会届について=承認。

6 青少年のタバコ開催の件 (本間青少年奉仕委員長より)

5月10日(火)19時より、イタリア軒にて開催。昨年同様、濱田道子さんのリサイタルを行う。

- 7 4月のプログラム=承認

- 4月 5日 会員スピーチ

「完成間近！これぞ、新潟のビールだ！
一番搾り 新潟づくり」

キリンビールマーケティング(株)
新潟支社長 山本 泰仁君

- 4月12日 観桜例会 於 イタリア軒

17:30受付 18:00開会

- 4月19日 会員スピーチ

新日鐵住金(株)新潟支店長 龍田 晃一君

- 4月26日 卓話「TPPの概要と活用に向けて」

一般財団法人
新潟経済社会リサーチセンター
主管研究員 神田 恵 さん
(ご紹介 吉弘 賢司君)

- 8 その他

- ・ 樋熊副会長より、ロータリー財団グローバル補助金奨学生の候補者についての説明。
- ・ 徳永理事より、国際奉仕委員会についてのアンケートに関する返答の問い合わせ。竹石会長、宇尾野次期会長と協議し、返答内容を確認。

4月5日、前橋ロータリークラブの観桜会に新潟から20人の会員が参加しました。新潟からバスで3時間、群馬県庁32階の展望室から桜満開のパノラマを満喫した後、英国調の『アルバート邸』で水戸RCを含む156名での大交流会となりました。



4月19日の例会予定

会員スピーチ

新日鐵住金(株)新潟支店長 龍田 晃一君